博物館を活用した

# 夏休み自由研究プロジェクト

身延町

もくじきのさとびしょうかん

# 木喰の里微笑館

身延町は、日蓮宗総本山の身延山久遠寺をはじめ、西嶋和紙の里、下部温泉郷、湯之奥金山、本栖湖などなど、見どころいっぱいの町です。この町で・・・

## 木喰さんの笑顔に出会おう！

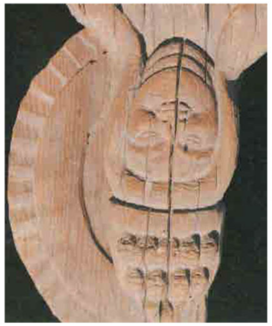
## ほほえむ仏像「微笑仏」！

この仏像は、江戸時代に身延町丸畑に生まれたお坊さん、木喰上人がほった仏像です。人々は親しみをこめて、彼のことを「木喰さん」と呼んでいます。

木喰さんのほった仏像は独特のほほえみをたたえていることから、いつしか「微笑仏」と呼ばれるようになりました。

**調べてみよう！**

日本にはいろいろな仏像があります。家の近くのお寺には、どんな仏像があるかな？身近な仏像と微笑仏を比べてみよう！！



十一面観音像

## 木喰さんってどんな人？

木喰さんの生涯をたどってみよう！

木喰さんは、享保３年（江戸時代の中頃）に生まれました。１４歳の頃に「畑仕事へ行く」といって丸畑の実家を飛び出し、江戸の町へ出ていろいろな仕事をしました。仕事に成功して出世することもあれば、失敗して仕事をなくすこともたびたびあったようです。

**調べてみよう！**

木喰さんが生まれたのは西暦何年かな？また、その時代のおもな出来事や人々の暮らしについて調べてみよう。

## お坊さんになりました！

２２歳の時に相模国（今の神奈川県）で真言宗のお坊さんと知り合ったことがきっかけで、出家することになりました。

４５歳の時に常陸国（今の茨城県）で木食観海上人より木食戒（もくじきかい）を受け、５６歳の時に日本全国をめぐり歩く修行の旅に出発しました。

**調べてみよう！**

木喰さんは、日本のどんなところを旅してまわったのかな？旧国名から木喰さんの足跡をたどろう！

## 木食戒（もくじかい）ってなに？

木食戒とは、お坊さんの修行の一つでお米や麦などの五穀を食べず、火を通したものも食べずに、ひたすら山野を歩き続けるという、とてもきびし～い修行です。

この修行が木喰さんの名前の由来だよ！

**調べてみよう！**

五穀はお米や麦のほかにどんなものがあるのかな？木喰さんはどんなものを食べていたのかな？

木喰さんはこの修行を続けながら、長い長い旅をしました。旅の途中、飢えや病気に苦しむ人々を救うため、木喰さんは仏像をほってお寺や神社などに納めていきました。こうして木喰さんの仏像は、今でも全国各地に残り、大切に守り伝えられているのです。

## 木喰さんはとっても長生き！

木喰さんは、きびしい木食戒の修行を積んでいたにも関わらず、９３歳の天寿をまっとうしたのです。すごいですね！！また、木喰さんは仏像をほるだけではなく、書画や和歌をたくさん残しました。

まるまると
まるめまるめよ　わが心
まん丸丸く　丸くまん丸

これは木喰さんがよんだ代表的な和歌です。木喰さんのあたたかい人柄がとてもよく伝わってきますね。

そんな木喰さんの作品は、彼の生き方も相まって、２００年経った今でも全国の人々に親しまれています。

挿絵：くらもちゆういち/ありいこうた
絵本　『笑顔をくれた木喰さん』
2019年身延町発行より

まだまだあるよ！

## 木喰さんエトセトラ

①木喰さんには３つの名前がある！？
②ほった仏像は千体以上！！でも全部が残っているわけではないらしい・・・？
③丸畑には、仏像や木喰さんの半生がわかる古文書がある！！
④木喰さんはどんな和歌をよんだのかな？
⑤微笑仏が全国に知られるようになったきっかけは？

などなど・・・

**詳しく調べてみよう！**

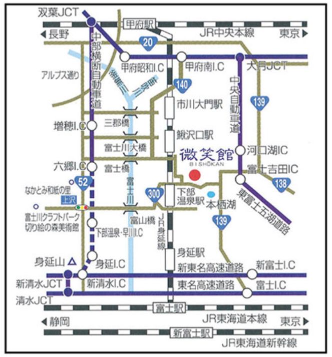
■身延町立図書館ホームページ
身延町地域資料〝木喰上人〟
http://www3.town.minobu.lg.jp/lib/

学習の参考にしてね！

太点線を切ろう！

もっと知りたいときは！

## 木喰さんのふるさと丸畑を訪ねよう！


双葉JCT
甲府駅
長野
JR中央本線
東京
20
中部横断自動車道
甲府昭和IC
甲府南IC
大月JCT
アルプス通り
140
市川大門駅
中央自動車道
139
増穂IC
三郡橋
鰍沢口駅
富士川大橋
微笑館
河口湖IC
六郷IC
富士橋
富士吉田IC
138
なかとみ和紙の里
52
300
下部温泉駅
本栖湖
富士川クラフトパーク切り絵の森美術館
富山橋
身延線
下部温泉・早川IC
精進湖
身延山
身延IC
身延駅
新富士IC
新清水JCT
新清水IC
新東名高速道路
東名高速道路
富士IC
清水JCT
富士駅
静岡
JR東海道本線
新富士駅
JR東海道新幹線

■ 木喰の里微笑館　ご利用案内
・開館時間　３月～１１月　午前９時～午後５時
　　　　　　１２月～２月　午前１０時～午後４時
・休館日　毎週水曜日・年末年始・祝日の翌日
・入館料　２００円（一般）・１００円（小中学生）
・住　所　〒409-2931
　　　　　山梨県南巨摩郡身延町北川2855
　　　　　電話　0556-36-0753（FAX兼用）